

# みんなが えがおですごすために

小学校・3年生

## I プログラムについて

### 1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「公平・公正」）

＝【人権感覚育成のための視点】

体験的な活動を通して、相手の気持ちを思いやり、公平・公正に対応することの大切さに気付くとともに、問題が生じた時は、話し合いを大切にして解決しようとする態度を身に付ける。

### 2 関連する教科等について

#### ○学級活動

内容（2） 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全  
（イ よりより人間関係の形成）

### 3 人権教育上の視点

- （1） お互いの大切さを認め、誰に対しても公平・公正に接しようとする心情や態度を身に付けている。（価値・態度）
- （2） 相手の気持ちを想像したり、相手の立場に立って考えたりし、公平・公正に接することができる。（技能）

## II アクティビティーについて

### 1 概要

#### ○活動1

「みんながえがおですごすために」（ワークシート）の場面から、自分自身を見つめたり、Bさんの気持ちを考えたりする。

#### ○活動2

解決策について、個人で考えた後、グループで話し合う。

#### ○活動3

本時の学習を振り返り、「みんながえがおですごすために」自分はどのようにしていくのかを考える。

## 2 準備するもの

- 事前アンケート
- 事前アンケートの結果
- ワークシート
- 振り返りシート

## 3 アクティビティの進め方

- 活動1 「場面の状況把握」
  - ① 自分がその場にいたらどのように思うのかを考え、自分自身を見つめる。
  - ② Bさんはどのような気持ちになったのかを考える。
- 活動2 「グループ協議」
  - ① どのような対応をすればよかったのか、個人で考えた後、グループで話し合う。
  - ② それぞれのグループで考えた解決策をクラス全体で発表し、ロールプレイを行う。
- 活動3 「振り返り」
  - ① 本時の学習を振り返り、「みんながえがおですぐすために」は、公平・公正に関わることも大切であることを理解する。

## 4 アクティビティを指導する際のポイント

- 事例にとどまらず、公平・公正の視点について、自分のこととして日常生活の中に生かしていこうとする児童の言動を認めることが大切である。
- 解決策を考えるグループを作る際は、自分の考えを進んで言えるよう人間関係に配慮する。
- 場面の状況把握で「自分がその場にいたらどうしていたか」を考える場面では、発表をする必要がないことを伝え、自分の本心と向き合えるようにする。
- グループで考えた解決策を発表する場面では、教師がBさんの役を演じ、児童が解決策をロールプレイできるようにする。
- 事後指導として、児童それぞれが「みんながえがおですぐすために」考えたことを、実践できたかどうかを振り返る時間を設けるとより効果的である。
- 人間関係がある程度分かってくる2学期以降に実施すると効果的である。

### Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
3分	<p>1 活動への意識付け</p> <p>T この前のアンケートの結果を発表します。気付いたことはありますか。</p> <p>C 全員が、みんなが笑顔で過ごせるとよいと思っているね。</p> <p>C 人によって態度を変えたことがある人は、意外というね。</p> <p>C みんな助けてもらったことがあるんだね。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前アンケートの結果を活用し、本時の学習への意欲をもたせる。</li> </ul>
30分	<p>2 場面の状況把握</p> <p>T ある日の教室での出来事です。先生が読むので、こういうことはないかなと考えながら聞いてください。</p> <p>T もし、あなたがこの算数の時間にいたら、どうしていたと思いますか。心の中で答えましょう。</p> <p>T Bさんは、どのような気持ちだったのでしょうか。</p> <p>C もう発表したくないよ。</p> <p>C どうしてわたしの時だけ、笑うの。</p> <p>3 解決策についてのグループ協議</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>みんながえがおですごすためには、どうすればよいのだろう</p> </div> <p>T Bさんのように悲しい思いをする人がでないために、どうすればよかったのでしょうか。まずは、1人で考え、その後、グループで話し合しましょう。</p> <p>C 仲がよいかそうでないかに関係なく、困っている人がいたら助ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場面の状況が身近に感じられるように、自分たちの経験を思い出させながら聞かせる。</li> <li>例を示し、自分だったらどうしていたかを考えさせる。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(例) ・一緒にくすくす笑う。 ・笑わずにだまっている。 ・笑っている人を注意する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の本心と向き合わせるため、発表をしなくてよいことを伝える。</li> <li>自分だったらどのような気持ちになるのかを考えさせる。</li> </ul>
	<p>T Bさんのように悲しい思いをする人がでないために、どうすればよかったのでしょうか。まずは、1人で考え、その後、グループで話し合しましょう。</p> <p>C 仲がよいかそうでないかに関係なく、困っている人がいたら助ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんながえがおですごすために」という視点で解決策を考えさせる。</li> <li>◎ Aさんが間違えた時には助け、Bさんが間違えた時には笑った行為には、公平・公正に関する問題があることに気付けるように、ねらいに沿った意見を取り上げる。(価値・態度)</li> </ul>



## (2) ワークシート

みんなが、えがおで すごすために

名前 ( )

Aさんは、明るくとても元気で、クラスの人気者です。Bさんは、おとなしく、人前で話すことがとても苦手です。

ある日、国語の時間に、みんなの前でAさんがかん字の読み方をまちがえました。CさんやDさん、Eさんたちみんなが、Aさんを助けました。

次の算数の時間に、みんなの前でBさんが計算をまちがえました。Cさんは、声を出してわらいました。DさんやEさんたちも、くすくすわらいました。

Bさんはうつむき、いすにすわり、ないてしまいました。

- みんなが、えがおですごすためには、どうすればよいでしょうか。グループで話し合ったことをメモしましょう。

(3) 振り返りシート

## ふりかえりカード

名前 ( )

① 今日の学しゅうをふりかえって、考えたことやわかったことを書きましょう。


② あなたは、「みんなが えがおですごくすために」何をがんばりますか。  
がんばることを書きましょう。

--

③ あなたが②で書いたことができた日には、○を書きましょう。

月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )	月 日 ( )